

# OB会員の趣味・特技者等の紹介 「趣味活あり～な」コーナー

## < スカッシュに賭けた人生 >

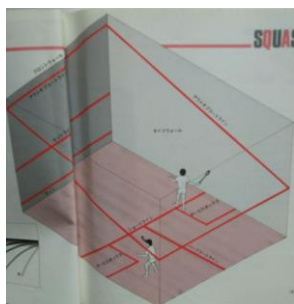
### プロフィール

氏名：坂本聖二 年齢69才  
在籍期間 勤続40年（昭和44年4月～平成21年11月）  
主な部署 鶴見店、川崎店  
主な職務 営業、マネージャー  
（トヨタ自動車より新車2000台販売賞受賞、最終販売台数2345台）



大卒社員募集パンフレットの一部（1988年）

### スカッシュとは：



スカッシュコート

ゴルフボウルより少し小さい、柔らかめなゴムボウルをラケットで交互に打ち合う室内型スポーツ。ラケットはテニス、バドミントンとほぼ同じ長さで、フェイスはテニスとバドミントンの中間サイズ。コートは縦幅・横幅・前の壁高さ・後ろ壁高さが定められていて、横の壁高さは前と後ろ高さを斜めに直線で引く。前面だけでなく横や後ろの壁も使うので、立体的ビリヤードとも呼べるような知的なショットが楽しめます。

試合方式は5ゲームマッチ、ラリーポイントの3ゲーム先取。1ゲームは11点先取。10-10で、タイブレーク方式。世界の185ヶ国以上で約2000万人の人々に親しまれています。

### スカッシュを始めた動機：

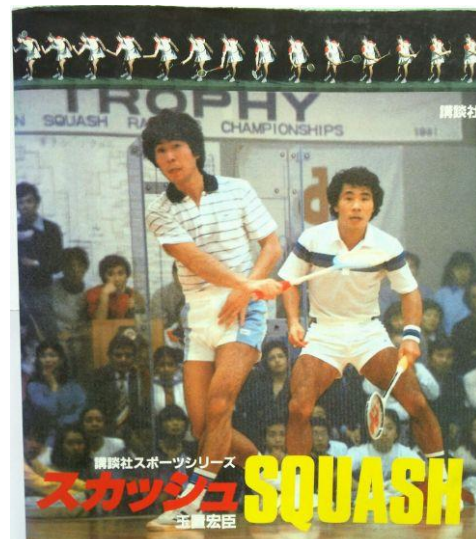
入学した神奈川県立高校が日本バドミントンチャンピオンを何人も輩出。それで自分も、単純にチャンピオンになりたい、という気持ちだけでバドミントン部に入部しました。それから過酷な練習をさせられ、挑み、学び、頂点を目指し邁進しました。その後、著しい成長が認められ、全日本大学チャンピオンの大学から勧誘を受けました。毎年元旦、初日の出を拝んでからランニングを開始しました。トレーニングが辛くなるとライバルの強豪選手達は、もっとやってるのだ！と自分に活を入れ、意識が遠のく位に苛め抜きました。入社した年の国体バドミントン決勝戦、マッチポイントを先取しながら逆転負け。その後、膝を傷めリハビリ治療中に会ったスカッシュ。その時、偶然、日本スカッシュ協会が普及のために招致していた、外人プロ選手とやり、コテンパンに打ちのめされたんです。バドミントン、トップ選手のプライドをへし折られた気分と、奥が深く不思議な魅力を感じた、未知のスカッシュを極めたいと転向を決意しました。

### 競技大会で渡航した先：

日本スカッシュ協会は“日本チャンピオン坂本聖二を世界のスーパースターに育てよう”のスローガンで急遽、スカッシュ世界チャンピオン国のオーストラリアへ武者修行に行きました。それから、主に東南アジア・欧州・米国など17ヶ国、延べにして100回以上の遠征をさせて頂きました。

### 主な大会での成績：

全日本大学（インカレ）バドミントン選手権大会優勝3回、準優勝1回  
国民体育大会バドミントン一般、準優勝



スカッシュマガジン表紙、右側が坂本聖二（全日本決勝戦）  
（1982年4月初版発行）

その後、スカッシュに転向  
初代全日本スカッシュチャンピオン  
全日本スカッシュ選手権大会9連覇、準優勝7回  
全日本スカッシュ選手権大会マスターズ部門優勝8回、準優勝4回  
ジャパンオープンスカッシュ選手権大会6連覇  
国内スカッシュ選手権大会、9年間無敗の149連勝  
東アジアスカッシュ選手権大会準優勝  
アジアスカッシュ選手権大会プレート部門優勝  
ワールドオープンスカッシュ選手権大会、ベストプレイヤー賞受賞  
世界スカッシュ選手権大会、プレート部門準優勝、ベストプレイ&  
ヒューマン賞受賞



アジア選手権大会、プレート部門優勝し  
パキスタン大統領より祝福される（1981年）

### 競技、その他の思い出：

国民体育大会、バドミントン一般男子決勝戦。  
相手は大学OBで尊敬する世界No.2のスーパースター。  
しかし、練習試合では私が10戦中6戦は勝っていました。  
三笠宮殿下御観戦の中、ファイナルゲームのマッチポイントを先取り、会場は歴史が変わるのでは、と静まり返っていました。  
だが非情にも、その一点が取れず逆転負けし、その場で泣き崩れてしまった記憶があります。

### スカッシュ本場での大激戦…

ロンドンでのワールドオープンスカッシュ選手権大会。  
特設4面ガラスコート。  
相手は良き友人でもありライバルの世界ランキングNo.6。  
息を飲む白熱した大接戦となり、4000人の観衆の殆どが“カモン、セイジ”と割れんばかりの拍手や声援を送ってくれてました。  
テレビ中継されて気合いが入ったが僅差で負けました…  
しかし、荣誉ある、ベストプレイヤー賞を受賞しました。  
このニュースは即、世界中に配信されたようでした。  
今も鮮明に甦ります。

これらを切っ掛けに、世界のスーパースターの一人、と呼ばれるようになっていったようです。  
そのお陰で、海外のロイヤルファミリーや大臣達が応援に駆け付けてくれたり、懇意になれてからはマレーシア宮殿にも招待されました。  
パキスタン大統領の晩餐会にも招待されたり。  
故高円宮殿下、妃殿下にはスカッシュをコーチさせて頂きました。  
その時「坂本聖二さんは二度と忘れられない存在になりました」と、温かい御言葉を頂戴したことを覚えてます。  
それからは毎年、対話をさせて頂きました。

### 活動：

日本スカッシュ協会の常務理事や競技委員長、日本ナショナルチーム監督も長期に務めました。  
昔、テレビで某メーカーのコマーシャルにも出演させて頂きました。  
テレビ出演も30回位させて頂けたと思います。  
某テレビ局にて、ドキュメンタリー番組「スカッシュの神様、坂本聖二」放映  
海外遠征も数回、テレビ局の密着取材がありました。  
昨年も数回、テレビでトークショーを。  
警察署、医療学校等で「スカッシュで得た体験」講演会を開催。

「スローカーブをもう一球」

故山際淳司著（ノンフィクション作家のレジェンド）角川文庫  
このスポーツノンフィクション短編集の一編に

「ジムナジウムのスーパーマン」

高校バドミントン時代を経て、電撃的にスカッシュへ転向。  
トヨタカローラ神奈川に入社し、トップセールスの傍ら、スカッシュの  
頂点に上り詰めた、坂本聖二物語。350万部発行されている大ベストセラー。  
その他、五人の作家に「スカッシュの坂本聖二」を描いて貰えました。

2020 東京オリンピックにスカッシュを追加種目入り出来るよう、日本  
スカッシュ関係者及び世界スカッシュ連盟や選手、ファンが最善の努力を  
して来ました。

しかし、残念ながら見送られてしまいました。

残されたチャンスの公開競技入りを目指しています。

2024 オリンピックには是非、参入出来るよう、

ジュニア層を育てスカッシュを認知、拡大させる活動をしていくつもりです。



「スローカーブをもう一球」(角川文庫)の一編  
「ジムナジウムのスーパーマン」で坂本聖二物語  
(1985年初版発行)

### 辛かったこと：

スカッシュのテクニックを更に向上させ、意気揚々とイギリス遠征から帰国。  
ところが不覚にも風邪を拗らせ、40度の熱でドクターストップにも拘わらず、強硬に全日本決勝  
戦に挑むが倒れました。それが原因で肺炎になり、三ヶ月の安静をすることになったこと。  
ヨーロッパ遠征の試合中、アキレス腱断裂し、地獄の苦しみのようなりハビリ荒治療を受けながら、  
トレーニングをしてきたこと。

余りにも激痛で、自然に涙がボロボロ出ていました。それでも歯を食い縛り、気力で立ち向か  
ったのを思い出します。

その一年半後、奇跡的にアジア選手権大会で何と3位になりました。

その当時のニュースが各国に流れていたため、アキレス腱断裂はデマじゃないのか？と関係者が  
訊ねて来ました。

しかし、事実と分かるや翌日の紙面に“Seiji is Monster”の見出しで特集されました。

### エピソード：

入社してからずっと、故伊藤社長の御好意でバドミントン、そしてスカッシュを長期的に思う存分、  
続けさせて頂き感謝しています。

全日本スカッシュ9連覇が途絶えた後、暫くし社長室に呼ばれ「好きなだけスカッシュをやらせて  
あげたから、そろそろ店長になり仕事に専念してくれないか？ お前は世界中を体験し、グローバ  
ルな感性、精神の持主だから、将来的には会社の役員候補なんだ」と。

しかし「スカッシュに燃える情熱は未だ、熱いものがあり、例え総理大臣に頼まれても辞められません。  
それでダメならこの場でクビにしてください。勿論、仕事も頑張ります」と懇願しました。

「お前をクビにする訳が無いだろ!! それなら思い切りやれ！」と頭をコツン。

それで快諾を得たのでした。

その後も会社のため、伊藤社長の恩義のためにも、  
スカッシュとの両立を誓ったものでした。

その後、故浅野社長にも同様に継続させて頂きました。

新車 2000 台販売賞受賞。

レセプション時、光栄にも張社長始め役員の方々が、  
スカッシュと仕事を両立してチャンピオンを維持し  
ている秘訣は？と尋ねて来て頂き対談しました。



新車 2000 台販売賞受賞後、トヨタ自動車 張社長(当時)と対話  
(2003年1月)

東南アジアでは特に香港、シンガポール、マレーシア等はスカッシュが盛んで強豪国です。シンガポールは、私の第二の故郷と思うほど頻りに訪れました。空港に着くなり、方々から“セイジ〜、How are you?”と声を掛けられます。街を歩いていても、ショッピング、レストラン、ホテルでも。行きつけのレストランには私の写真入りサイン色紙が飾ってあったり。新聞で有名ブランドのコマーシャルに掲載されたり。シンガポール航空では何回か、機長案内時に“〇〇番シートに日本スカッシュチャンピオンのセイジサカモトが座っています”と。始めは優越感もあり嬉しかったですが、入れ替り立ち替わり、外人達からの質問攻めに合い大変な思いをしたものでした。

坂本 聖二



全日本スカッシュマスターズ優勝 (2015年11月)



神奈川県警察鶴見署長より、地域に貢献した有名人と言うことで特別賞を授与された (1994年3月)

## 「趣味活あり〜な」コーナー

OB会員で趣味や特技等を基に個人活動している方を紹介するコーナーを企画しスタートしました。

ご希望の方は、自薦他薦問わず事務局まで簡単な紹介内容を送って（FAXも可）下さい。

応募頂いた内容により役員会にて検討し、人選をさせて頂き、その後 記事内容をまとめる等の計画ですのでお含みおき下さい。

（注）紹介は6ヶ月毎に1人程度、次回は平成29年1月の予定。

OB役員会